



国立大学法人 千葉大学  
National University Corporation  
Chiba University

ニュースリリース

平成 25 年 1 月 28 日

千葉大学ソーラー・デカスロンチーム

## ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2014 参加決定

### 世界大学対抗ソーラー住宅建設競技の一次審査突破

千葉大学（学長：齋藤 康）は、2014 年 6 月にフランス・ベルサイユで開催される『ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2014 フランス大会』の一次選考（2012 年 12 月実施）に応募し、応募 44 チームの中から参加チームの 1 校に選ばれた。本大会は、産学が連携し学生が主体となって次世代のソーラー住宅を設計、建設、発表する大学対抗の建設競技で、日本からの参加は千葉大学のみである。

『ソーラー・デカスロン』は、太陽光利用の普及・啓発と学生の教育を目的に、2002 年にアメリカ合衆国エネルギー省が始めた国際大会で、これまでアメリカで 5 回、ヨーロッパで 2 回の開催歴があり、千葉大学は昨年 9 月にスペイン・マドリードで開催された 2012 年スペイン大会に続いて二度目の出場となる。

2014 年フランス大会は集合住宅がテーマで、高効率のソーラーパネルを用いたエネルギーの自給だけでなく、都市との関係や住民の移動手段（モビリティ）も新たに審査対象となる。千葉大学は、「ソーラー・chimney」を換気装置や移動手段として活用し、太陽光を最大限に活かしたパッシブな住環境を提案する。

2014 年 6 月には、世界 16 カ国から集まった 20 チームが、計画に基づく住宅をベルサイユに建設し、公開二次審査が行われる。測定や審査によって、デザイン性、省エネ性、快適性、革新性など 10 種目（＝デカスロン）の得点を競い、総合順位を決める。

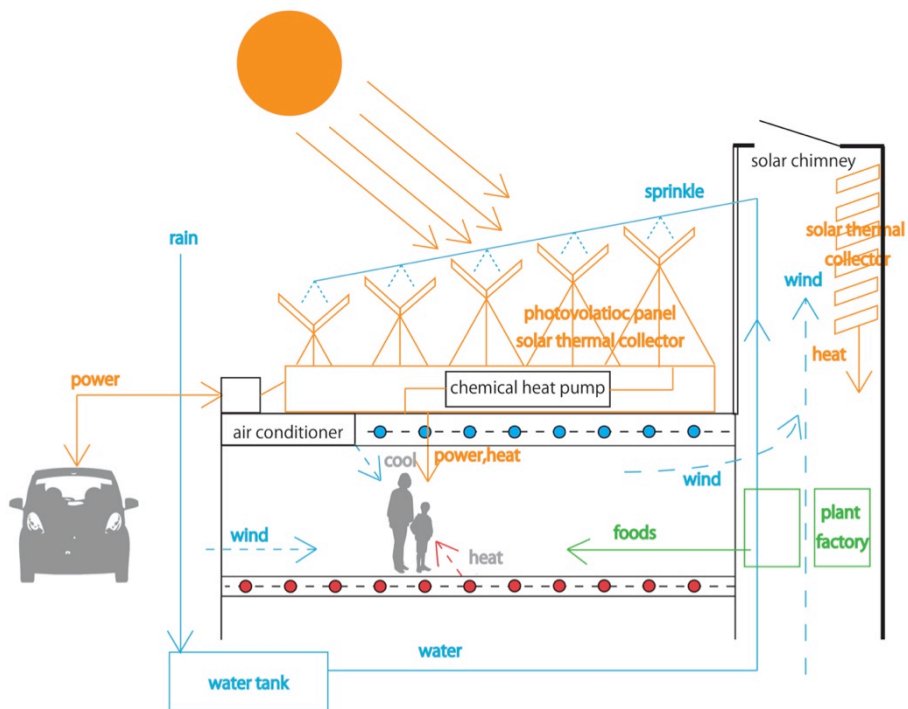
今後、工学部建築学科が中心となり、全学をあげてプロジェクトを進める。前回大会を経験した学生も数多く参加し、グランプリを狙う。

本件に関するお問い合わせ先  
千葉大学ソーラー・デカスロンチーム  
田島翔太（工学研究科博士課程）  
E-mail : shota.tajima@chiba-u.jp

【参考資料】



ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2012 スペイン大会の様子



「ソーラー・chimニー」のダイアグラム

以上